

2022年度 鶴見川クリーンセンター放流水質測定結果

下水処理場からの放流水については、水質汚濁防止法及び東京都の関連条例等で規制基準が定められていますが、全ての基準に適合していました。

鶴見川クリーンセンターの2022年度の放流水質測定結果は、下表のとおりでした。

■ 2022年度 鶴見川クリーンセンター放流水質測定結果(年度平均値)

測定項目	計量単位	測定結果	排水基準
水温	度(セルシウス)	24.0	40以下
透視度	度	100以上	基準無し
水素イオン濃度	pH	6.86	5.8以上8.6以下
大腸菌群数	個/cm3	210	3000以下
化学的酸素要求量(GOD-Mn)	mg/L	8.4	基準無し
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	5.1	25以下
ATU-BOD 注記1	mg/L	3.3	基準無し
浮遊物質(SS)	mg/L	2.5	60以下
残留塩素	mg/L	0.25	基準無し
窒素含有量	mg/L	12	30以下
リン含有量	mg/L	0.97	3以下
ノルマルヘキサン抽出物質	mg/L	3未満	鉱油類含有量 5以下 動植物油脂含有量 30以下
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.003未満	0.03以下
シアン化合物	mg/L	0.1未満	1以下
有機リン化合物	mg/L	0.02未満	1以下
鉛及びその化合物	mg/L	0.01未満	0.1以下
六価クロム化合物	mg/L	0.05未満	0.5以下
砒素及びその化合物	mg/L	0.01未満	0.1以下
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.0005未満	0.005以下
アルキル水銀化合物	mg/L	不検出	検出されないこと
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	0.0003未満	0.003以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.001未満	0.1以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.001未満	0.1以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.001未満	3以下
四塩化炭素	mg/L	0.001未満	0.02以下
ジクロロメタン	mg/L	0.001未満	0.2以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.001未満	0.04以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.001未満	1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.001未満	0.4以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.001未満	0.06以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.001未満	0.02以下
ベンゼン	mg/L	0.001未満	0.1以下
チウラム	mg/L	0.006未満	0.06以下
シマジン	mg/L	0.003未満	0.03以下
チオベンカルブ	mg/L	0.02未満	0.2以下
セレン及びその化合物	mg/L	0.01未満	0.1以下
フェノール類含有量	mg/L	0.05未満	5以下
銅含有量	mg/L	0.05未満	3以下
亜鉛含有量	mg/L	0.04 注記2	2以下
溶解性鉄含有量	mg/L	0.05未満	10以下
溶解性マンガン含有量	mg/L	0.03未満	10以下
クロム含有量	mg/L	0.05未満	2以下
ふっ素及びその化合物	mg/L	0.08	8以下
ニッケル及びその化合物	mg/L	0.05未満	基準無し
ほう素及びその化合物	mg/L	0.04	10以下
1, 4-ジオキサン	mg/L	0.005未満	0.5以下
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.0018	10以下 注記3

注記1 ATU-BODとは、硝化を抑制した生物化学的酸素要求量(C-BODと同意)

注記2 個々の測定結果にひとつでも検出した結果がある場合には、定量下限値未満の数値を数値として扱い平均値を算出

注記3 ダイオキシン類対策特別措置法に基づく水質排出基準

用語解説

TEQ(Toxicity Equivalency Quantity): 毒性等量

ダイオキシン類の濃度は分析した実測値を元に最も毒性が強い2, 3, 7, 8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性を1とし、他のダイオキシン類については毒性の係数を使って換算した数値の総和として表したものです。